

奈良国立大学機構と両大学の取り組みについて、
今回は、主に、6 月の動きを中心にお伝えします。

—————▼お知らせの種類▼—————

- A. 榊理事長から B. 両大学共通イベント
C. 奈良教育大学の取組 D. 奈良女子大学の取組
E. 法人運営に関すること

//////////▼注目 Topics▼//////////

- 【B-1】第 1 回理事長主催学内懇談会を開催
【C-4】「寧楽書院創立 150 周年記念展示『寧楽書院とその時代』」の様子が各
種メディアにて掲載
【D-2】工学部の今田ひなのさんが申請した研究が「ゴールドリボン研究助成」
に採択
【E-1】「国立大学協会声明 ー我が国の輝ける未来のためにー」の発表について
//////////

□
| \ / | A. 奈良国立大学機構 榊理事長から
□

「欧米の大学を訪ねて考えたことーリベラルアーツ教育と博士課程の充実ー」

COVID-19 の影響が和らいだので、欧米の諸大学を 4 年振りに訪ねた。ガザ
紛争や生成 AI の普及など人類社会の行く末が見通しにくい状況の中、大学は
(1) 幅広い見識と深い専門性を備えた総合知を持つ学生を育てる使命と、(2)
大学院でより深い専門性と広いビジョンを持つ人材を育てるとともに、学術や
社会の最前線を拓く使命を担うが、諸大学はどう対応しているか。今回の旅で
気付いた点を述べたい。

日本の高等教育は、第 1 の使命を果たすために欧州に倣った制度を用いてき
たが、戦後に廃止し、米国を参考とする制度に移行を試みたものの今なお道半
ばにある。特に、旧制高校の廃止に伴い、学術の共通基盤を学ばせ、広い見識
を養うリベラルアーツ (LA) 教育が弱まり、学生の人間性や自律性を育む寮制
度が衰退した。今回訪ねた MIT など米国の有力大学は、新入生に寮生活を必修
化した上、厳選したコア科目を学ばせ、独自の理念の下で LA 教育に磨きをか
けている。百冊の古典を読ませる伝統で名を馳せたシカゴ大学は、今も全学生

に哲学や数学を学ばせ、他方、新興の Olin 工科大学は、課題解決型の Project 体験学習を通じ、数学・理工学・情報・人文社会系の基礎概念を学ばせる斬新な教育を進めている。日本も LA 教育の内容を充実させ、各大学の独自性を強めることに活かすべきではないか。

大学の第二の使命は、高度な専門性と創造的なビジョンを持つ人材を育てるとともに、研究を通じて学術や社会の前線を拓くことにある。米国では、専門基礎力は学士課程で養うが、高度な専門教育は大学院修士課程で行うのが標準である。他方、ドイツでは 13 学年次まで続く高校（ギムナジウム）で LA 教育を完了させ、学士課程 3 年間は専門教育に集中し、大学院では研究に専念させている。なお、両国の専門教育制度は異なるが、博士課程を含む大学院では、能力と意欲に富む若者を世界中から集め、国際的交わりの中で切磋琢磨させ、財政支援の下、学術や社会の前線を切り拓く若手のプロフェッショナルを育てる点は共通している。また、博士課程学生を含む先端研究の現場は、複数分野の手法や概念を用いる機会が多いため、異分野間で対話し、学際的な啓発と協力を進める能力と意欲を育む場となっている。大いに留意すべき点であろう。

以上、欧米の大学におけるリベラルアーツ教育と博士課程の近況の一端を紹介した。少しでも参考になれば幸いである。

B. 両大学共通イベント

【B-1】第 1 回理事長主催学内懇談会を開催（6/10）

https://www.nara-ni.ac.jp/news/2024/240612_1.html

【B-2】第 5 回研究交流会「健康と生活習慣の未来」を開催（6/11）

https://www.nara-ni.ac.jp/nara_colleges/news/2024/20240611/20240611.html

【B-3】第 3 回くらしものづくりカレッジ「ものづくりという選択肢～現場・人・汗・音・熱のある世界～」を開催（6/21）

https://www.nara-ni.ac.jp/nara_colleges/news/2024/20240621/20240621.html

<開催案内>

○第 6 回研究交流会「森林の未来を考える」

場所：奈良女子大学 G 棟 101

日時：令和 6 年 7 月 23 日（火）16：30～18：30

https://www.nara-ni.ac.jp/nara_colleges/news/2024/20240723.pdf

C. 奈良教育大学の取組

【C-1】「関西・歴史文化首都フォーラム in NARA」にユネスコクラブと ESD・SDGs センター長の中澤静男教授が参加 (5/16)

<https://www.nara-edu.ac.jp/news/2024/05/16.html>

【C-2】妖怪書家／書家の逢香氏が学長室を訪問 (6/3)

<https://www.nara-edu.ac.jp/news/2024/06/alumni0603.html>

【C-3】熱中症対策研修会を開催 (6/5)

https://www.nara-edu.ac.jp/news/2024/06/05_training.html

【C-4】「寧楽書院創立 150 周年記念展示『寧楽書院とその時代』」の様子が各種メディアにて掲載 (6/7)

<https://www.nara-edu.ac.jp/news/2024/06/media0607.html>

【C-5】国際戦略センター ヤナセ特任講師の文化財の解説の翻訳に取り組む様子が NHK 奈良 NEWS WEB にて掲載 (6/19)

https://www.nara-edu.ac.jp/news/2024/06/19_media.html

D. 奈良女子大学の取組

【D-1】第 1 回学長主催学内研究交流・懇談会を開催 (5/30)

https://www.nara-wu.ac.jp/nwu/news/2024news/20240604_1.html

【D-2】工学部の今田ひなのさんが申請した研究が「ゴールドリボン研究助成」に採択 (6/17)

https://www.nara-wu.ac.jp/nwu/news/2024news/20240617_1.html

【D-3】なでしこ基金外国人留学生奨学金決定通知書授与式を開催 (6/19)

https://www.nara-wu.ac.jp/nwu/news/2024news/20240621_1.html

【D-4】第 2 回学長主催学内研究交流・懇談会を開催 (6/27)

https://www.nara-wu.ac.jp/nwu/news/2024news/20240703_1.html

【D-5】第 22 回奈良女子大学社会連携フォーラムを開催 (6/28)

https://www.nara-wu.ac.jp/nwu/news/2024news/20240703_3.html

<開催案内>

○第 20 回「若手研究者支援プログラム」辞書と類書

場所：奈良女子大学 文学部 N 棟 202 教室

日時：令和6年8月26日（月）11：00～17：00（入場10：30～）

<https://www.nara-wu.ac.jp/kodai/wakate/wakate2024.pdf>

E. 法人運営に関すること

【E-1】「国立大学協会声明 ー我が国の輝ける未来のためにー」の発表について
(6/7)

https://www.nara-ni.ac.jp/news/2024/240614_1.html

▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲

バックナンバーは以下よりご覧いただけます。

<https://www.nara-ni.ac.jp/news/narakoku/index.html>

また、学内掲示板以外のメールでの配信をさせていただいている方で、
配信停止をご希望の方は、お手数ですが、
somu02@jimu.nara-wu.ac.jp まで、その旨お知らせください。

▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲